



7月の園だより



2022.7.1
社会福祉法人 楡の会
児童発達支援センター
きらめきの里

* * * * * 今月のエピソード * * * * *

1. 褒められて、意欲も自信もグングン！

4月の頃は、ママと分離の時間は不安で泣いていたAちゃん。ドキドキがいっぱいでした。ママと一緒に色々な活動を楽しみ経験する中で「ママと一緒に頑張る！ママと一緒に遊ぶのって楽しい！れもんクラス楽しい！」という思いを積み重ねてきました。



今では、安心できる先生がいれば「ママは必ずAの所に戻ってきてくれる。だから、今ここにママがいなくても大丈夫！ママが戻るまで遊んでよ～」とママと分離の時間も、楽しく遊んで過ごせるようになりました。

最近、『褒められるのが嬉しい！』という気持ちも育ってきて積極的にお当番や手遊びにも取り組み、みんなにいっぱい褒めてもらい、たっぷり満足感・達成感を味わって、自信をつけてきています。いっぱい笑って、真似っこして、お友達への関心も高まり、言葉の理解も順調！愛想笑いだっしてっちゃうAちゃん。言葉が育つ心の土台作りは準備OKです！



これから、ママに言葉のお手本をいっぱい示してもらい「自分の思いを伝えたい！」という意欲が、更に高まってくるはず！Aちゃんがこの先、どんな姿を見せてくれるのか、楽しみです。

漆館 いずみ

2. 上手く誘って、一緒に遊んで、満足作って！ 遊びを楽しめる子に！

感触遊びの活動中。Bちゃんがスライムの入っているトレーを机にひっくり返した時、Bちゃんのパパは「机の上で混ぜたかったね。いいよ」と声を掛けて、机の上と一緒にスライムを混ぜて遊びました。



ひっくり返したBちゃんの行動を「あ～こぼれた！」と怒るのではなく肯定的に捉えて、遊びに繋がったパパのおかげで、Bちゃんはダイナミックな感触遊びをすることが出来ました。

Bちゃんは、シーツブランコも最初はドキドキ、苦手でしたが、回を重ねるごとに慣れてきて、最近では安心してシーツの上に寝転んで、最後の「ドッシーン！」を楽しむ事が出来る様になりました。

活動に上手に誘ってくれて、ちょっとでもできた事を褒めてくれるママやパパのおかげで、Bちゃんは苦手だった遊びも出来る様になり、ゼリーも完食出来る様になりました！！

活動中は、担任も「～やってみよう！」「～楽しいね」「～出来たね」などの声掛けを継続しています。これからも『楽しい！』をいっぱい作り、子ども達の“ヤル気”を引き出せるように頑張ります！

立石 真帆

★「～できて嬉しい！」という感情は、子どもの中に、もともとあるものではなく、子どもが出来た事や行動を「できたね！すごいね！上手！」と、認めて褒めてくれるママ・パパの存在があるから育つものです。出来た事や行動を大人に肯定的に意味づけしてもらい、子どもの心に満足感と共に育まれる感情なのです。

認められ褒められた記憶は、次に何かできた時や頑張った時に「～頑張ったよ！また褒めて！」と眼差しでママやパパに求める行動を作ります。それに応じて褒めてもらえて…。この繰り返しの経験が「～できて嬉しい。次も頑張ろう！」という喜びを確かなものにして、子どもの意欲＝成長の源になっていくのです。

子どものサインを受け止めて、褒めて「嬉しい」をいっぱい作ってあげて育てましょう！

田野 準子